

後志総合振興局管内の水産業の現状

(1) 概要

古くは、ニシン漁を主体として栄えてきた管内の漁業は、その後、刺し網等の漁船漁業を主体として発展してきたが、昭和52年の200海里水域設定を始めとする国際的な漁業規制の強化により、沖合漁業により、漁家の経営不振を招き、漁協財務を悪化させることとなった。

このため、本道200海里内での資源の増大・有効利用を図るため、「水産基盤整備事業」、「栽培漁業地域展開事業」等により栽培漁業の確立を図っている。

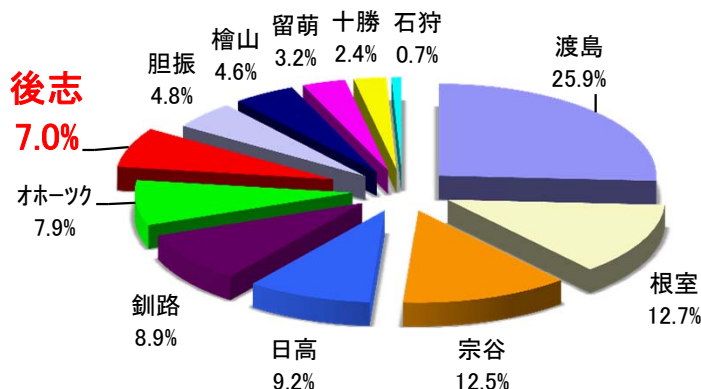
また、漁業の生産基盤である漁港は38港を有し、「水産基盤整備事業長期計画」により、漁港・漁村の整備を進めている。

(2) 沿海漁協組合員（各漁協の平成23事業年度末）

① 振興局別組合員数

・管内では1,312名であり、全道の約7.0%となっている。（7番目）

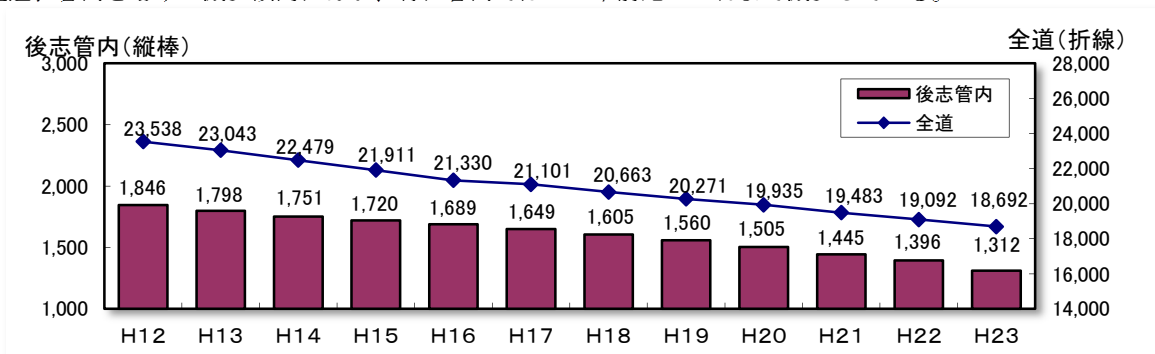
渡島	4,840
根室	2,383
宗谷	2,333
日高	1,722
釧路	1,669
オホーツク	1,480
後志	1,312
胆振	904
檜山	859
留萌	601
十勝	451
石狩	138
合計	18,692



(北海道水産林務部水産経営課調べ)

② 組合員数の推移

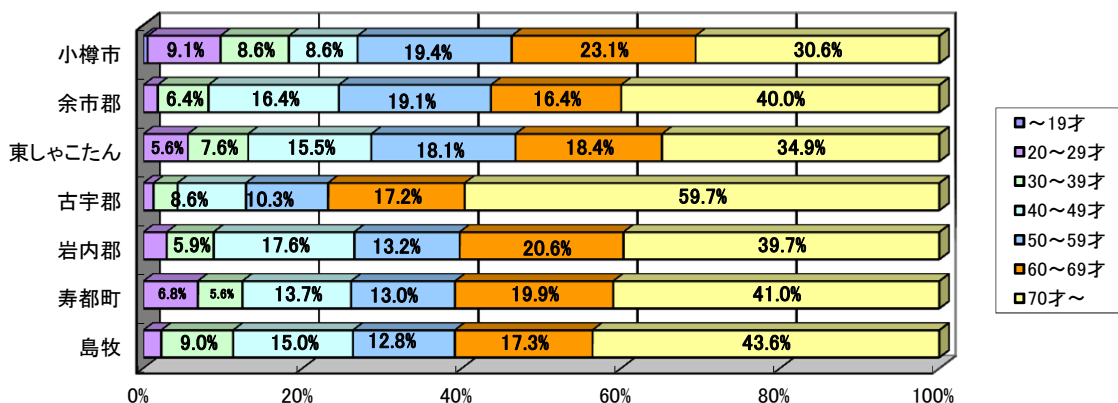
・全道、管内とも年々減少傾向にあり、特に管内では10年前比73%まで減少している。



(北海道水産林務部水産経営課調べ)

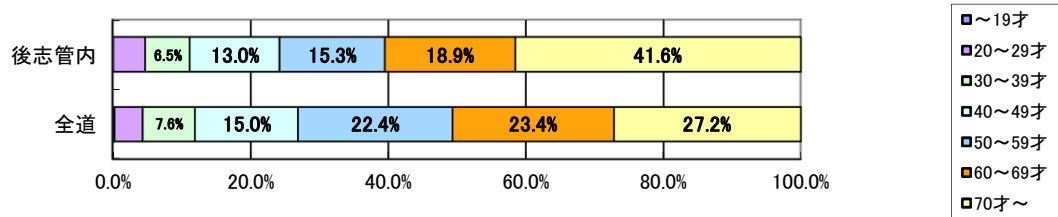
③ 組合員の年齢構成

・各漁協とも60才以上の占める割合が5割以上であり、高齢化が進んでいる。



(北海道漁連指導教育部調べ)

・全道平均と比較しても、管内は高齢者の占める割合が高く、およそ6割が60歳以上である。



(北海道漁連指導教育部調べ)

(3) 漁業生産高 (平成23年)

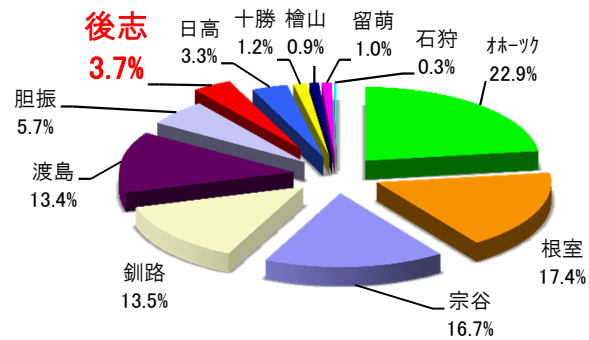
① 振興局別漁業生産数量

・管内の漁業生産量は45,894トンであり、全道の約3.7%となっている。(第7位)
 ・魚種別にみると、ほっけが最も多く、全体の57%を占める。次いですけとうだら、かれい類、さけの順となっている。

後志管内魚種別数量 (トン)

ほっけ	20,269	44.2%
すけとうだら	5,532	12.1%
するめいか	5,154	11.2%
かれい類	2,987	6.5%
さけ	1,828	4.0%
その他	10,124	22.1%
管内計	45,894	100.0%
全道計	1,253,564	—

(資料：平成23年北海道水産現勢)



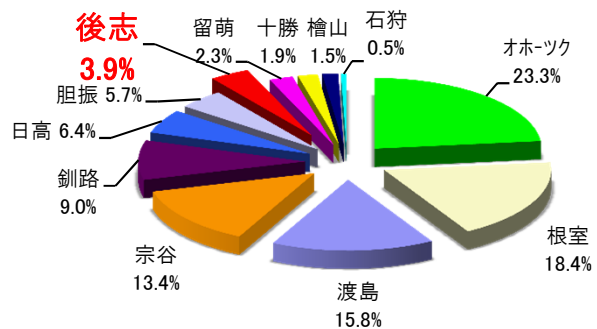
② 振興局別漁業生産金額

・管内では10,661百万円であり、全道の約3.9%となっている。(第8位)
 ・魚種別にみると、ほっけが最も多く、次いでするめいか、なまこ、ほっこくあかえび、かれい類の順となっており、上位5魚種で管内全体の約半分を占めている。

後志管内魚種別金額 (百万円)

するめいか	1,422	13.3%
ほっけ	1,299	12.2%
なまこ	1,266	11.9%
かれい類	730	6.8%
ほっこくあかえび	717	6.7%
その他	5,227	49.0%
管内計	10,661	100.0%
全道計	274,694	—

(資料：平成23年北海道水産現勢)



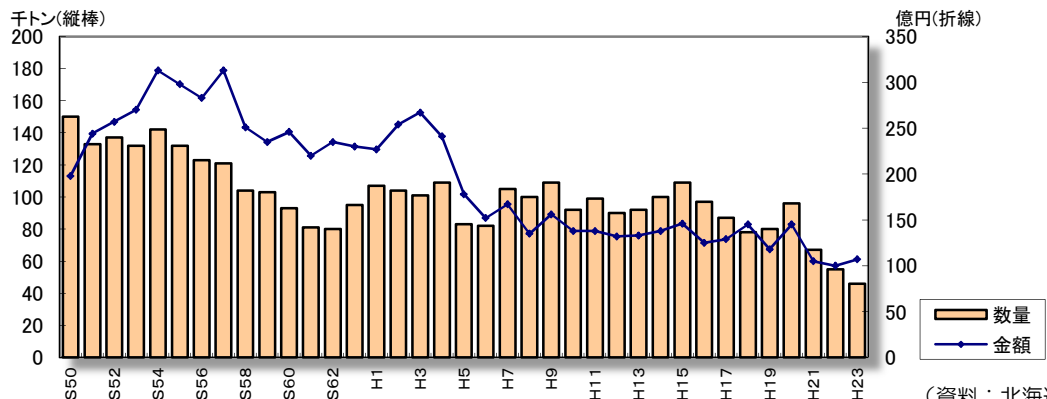
③ 昭和50年以降の漁業生産高の推移

・数量

長期的に見ると、昭和50年(15万1千トン)をピークとして豊凶を繰り返しながら概ね減少傾向にある。平成23年は主力魚種であるほっけの不漁によって、前年比およそ84%の約4万6千トンと大きく落ち込んだ。

・金額

昭和57年(313億円)をピークに減少傾向にあり、平成6年以降はおよそ120～160億円前後で推移してきたものの、平成21年および22年は主力魚種であるほっけの減産が大きく響き、100億円程度に留まっている。



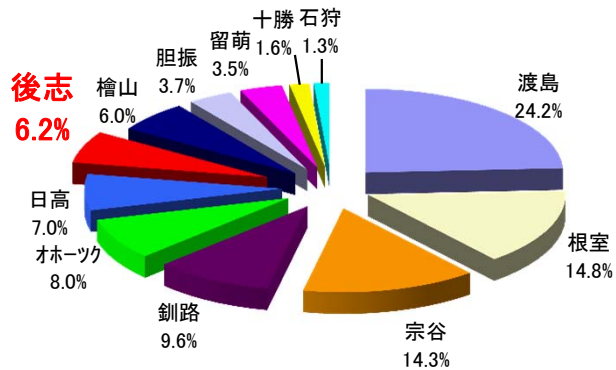
(資料：北海道水産現勢)

(4) 漁船勢力（海水漁船）（平成23年12月末日現在）

① 振興局別漁船隻数

- 管内では、1,745隻であり、全道の約6.2%となっている（第7位）。
- 階層別にみると、5トン未満船が最も多く、管内全体の約88%を占めている。

動力漁船		隻数
後志管内	～4t9	1,541
	5t～9t9	133
	10t～19t9	60
	20t～99t9	1
	100t～	9
無動力漁船		1
管内合計		1,745
全道合計		28,299

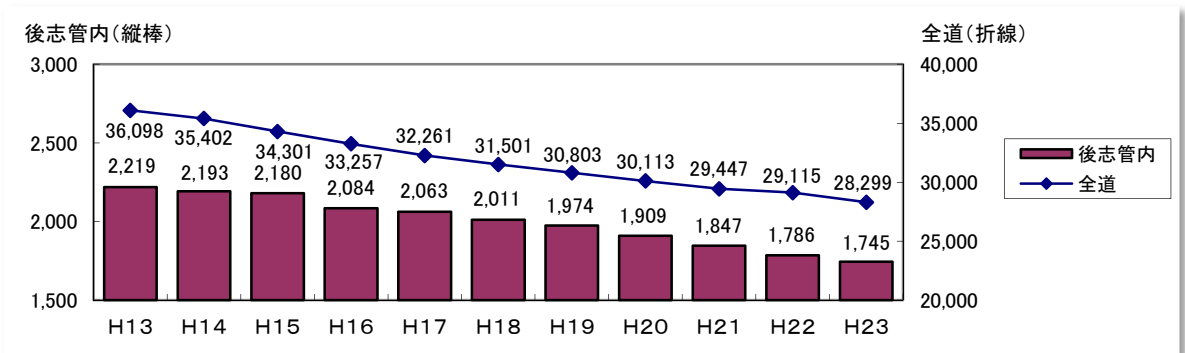


振興局・総合振興局別海水動力漁船の勢力

（資料：北海道漁船統計表）

② 漁船隻数の推移

- 年々減少傾向にあり、10年前と比較して約2.1%減少している。



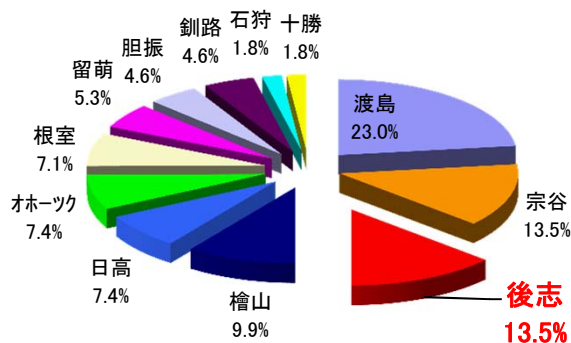
（資料：北海道漁船統計表）

(5) 漁港

○ 振興局別漁港数

- 管内では、38漁港であり、全道の約13%となっている。（第2位）

第1種	32
第2種	2
第3種	3
第4種	1
管内計	38
全道	282



（北海道水産林務部漁港漁村課調べ・平成24年10月1日現在）